

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 緩和医療における歯科医療従事者の育成事業(緩和ケア研修会)</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人神奈川県歯科医師会 会長 鈴木 駿介</p>
<p>3. 実施組織： 一般社団法人神奈川県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： 昨今、がん医科歯科連携の推進に関して、広くその必要性は認知され、その連携について具体的な事業展開が行われて来ているが十分とは言えない。特に緩和医療、がんと診断された時点から始まる緩和医療、また終末期患者における緩和医療の歯科医療の果たすべき役割については、いまだ理解がされていない。この事業により、歯科医療従事者が緩和医療の実際を学び、緩和医療における歯科医療の役割を認識し実践する人材の育成を目的とする。今後、地域包括ケアシステムを構築する上で、緩和医療を理解した歯科医療従事者は、がん治療中患者や在宅におけるがん患者(終末期も含む)への対応の向上が期待できる。</p>
<p>5. 事業の内容： 開催日時：平成 29 年 3 月 5 日(日)9:00~17:30、同 12 日(日)9:00~18:15 開催場所：神奈川県歯科医師会館 501・502 研修室 対 象：神奈川県歯科医師会会員・神奈川県歯科医師会会員診療所の歯科衛生士 定 員：21 名(当初は 15 名だったが、応募が定員を大きく上回ったため、6 名増加した) 講 師：緩和ケアに携わる医師のべ 16 名 内 容：講義・ワークショップ・ロールプレイ 緩和ケアにおいて、安全で質の高い歯科医療を提供するための人材を育成するため、日本緩和医療学会に協力を得て PEACE PROJECT を活用した研修会を開催した。</p>
<p>6. 実施後の評価(今後の課題)：歯科医療従事者に限定した緩和ケア研修会実施に理解を示してくれたファシリテーターの指導のもと、がん患者を取りまく様々な課題を歯科医療従事者が研修できたことはとても有意義であった。また既定の緩和研修会のプログラムに加え、歯科医療従事者が理解しやすい口腔がんも症例に加え、実施したグループワークでは活発な意見交換も行われ、ロールプレイも参加者から高い評価を得た。今後の課題として、許容範囲で研修項目に歯科に関する内容を追加すること、受講者数が限られる中で講師謝礼も含めた開催経費がかかること、講師の日程調整が困難なことなどが挙げられる。しかし、周術期や在宅診療において医療従事者と同じ内容の緩和医療研修を受けることの重要性を再認識し、継続開催の必要性を感じた。</p>